

ガタガタ通信

MIZUBE NI ASOBU KAI

No. 26

2006・初夏の号

発行
N P O 法人
水辺に遊ぶ会

大分県中津市中央町2-8-35
TEL&FAX: 0979-23-5320



里 浜 海

豊前原中津國

沖に出て、海の上から海を見る、
陸からでは見えなかつた何かが、
きっと見えるはずなんだ。

春が来た！ いや、もう梅雨になるんだよ。
ということでお久しぶりですゴメンナサイ。
ガタガタ通信突撃編集局でございます。今年
は正月から何やらガタガタ騒々しかった水辺
に遊ぶ会ですが、春が過ぎて一段落。そうだ
よ、忘れちゃいけねえ、干潟だよ！ 編集局
久しぶりに中津干潟に突撃するつちやー。
▼お日様がまぶしい屋下がり、大新田をてく
てく歩いていると、何やらたくさんの方たち
が何かしているぞ。おおお、貝掘りではな
いですか。それも大判小判がざつーくざつー
く…。この数年間に放流した稚貝が部分的に
けれど見事に育つてきている様子。アサリが
捕れなくなつて久しい中津干潟にちょっとだけ
良い風が吹いてきた予感。貝が捕れると中
津の漁業に活気が戻つてくるんじゃなかろう
か、とちょっとうれしくなつた。

▼晴天の下、波に揺られながら引き上げたタ
コっぽの中をのぞくと、小さなタコが貝殻を
一生懸命かぶつて縮こまつていた。つぼの中
には小さな宝石のような卵。こいつらはこ
づらなりに精一杯生きているんだなあ、と感
動。ついでにタコの美味さにも感動。私たち
人間は他の生きものの生命をもつて生かさ
れているんだなあと、また感動。小さなカブ
しいのが何より一番だよ！

▼こんな楽しくて幸せな気分を与えてくれ
る中津干潟に感謝するこのごろ。水辺に遊
ぶ会の目ざす「里浜・里海」は、自然と共
存できる人間の暮らし方や、限りある海の
資源を守り育てる持続可能なつきあい方じ
やないかと考える。そして一番大切にした
いのは、そこに大きく関わりを持つ人たち
の輪（和）だと思う。中津の海のファンが
もつともっと増えて、みんなで知恵を出し
合いながら、海や川や森や、それから自分
たちの暮らしについて考えていかれるとい
いなあ。それが里海・里浜。モチロン、樂

■活動報告(2005.12.1~2006.4.30)

12. 2 北部小学校4年道徳ゲストティーチャー
12. 11 大新田ビーチクリーン&漂着物調査
12. 12~13 舞手川河口調査
12. 13 山国川生きもの学会出席
12. 14 O B S テレビ打ち合わせ
12. 19 新春対談収録(広瀬知事と)
12. 21 O B S ラジオ出演
- 山国川環境検討会出席
12. 23 N P O 法人設立総会
1. 12 F M なかつ出演
1. 13 シンポジウム資料印刷
1. 14 シンポジウムエクスカーション
- ・のり天日干し体験
- ・夜なべ談義
1. 15 シンポジウム開催
1. 16 魚市場・山国川見学他
1. 17 山国川学習館運営会議出席
1. 24 県民支援室へN P O 法人申請
1. 26 築上東中総合学習ゲストティーチャー
1. 27 中央公論取材
1. 28 N P O プラザへ講習会受講
2. 5 山国川自然感察会
- (講師:藤本和典さん)
2. 9 県立歴史博物館で打ち合わせ
2. 13 里浜ヒアリング
2. 14 山国川環境検討会議出席
2. 17 山国川生きもの学会
2. 20 生活学校中津支部講演
2. 24 山国川学習館運営会議出席
3. 10 WAVE港・海辺振興助成報告会
3. 12 大新田ビーチクリーン&漂着物調査
- ※雨天＆現場工事のため中止
3. 13 山国川環境検討会議出席
3. 14 沖代小4年環境学習ゲストティーチャー
3. 27 清らかな水源保全指針検討委員会出席
- N P O 法人認証証伝達
4. 5 法務局へN P O 法人登記
- 県立工科短大打ち合わせ
4. 8 作っちゃんおう・食べちゃおう1回
- たこつぼ遺跡見学とつば作り
4. 9 舞手川河口周辺測量調査
4. 10 県立工科短大海岸清掃雨天中止
4. 11 県立歴史博物館打ち合わせ
- 11~13 O A B テレビ撮影協力
4. 13 ぐるっと中津取材
4. 14 市長にテレビ撮影協力要望
4. 18 如水保育園子育て支援協力
4. 22~23 作っちゃんおう・食べちゃおう
- 2回・たこつぼ野焼き
4. 27 ごみゼロ県民会議出席
4. 28 みどりの日環境大臣賞授賞式

1月15日開催のシンポジウムはWWF自然
保護助成を、作っちゃんおう・食べちゃおう2
006<たこつぼ編>は「こども夢基金」の
助成を、水辺に遊ぶ会2006年度教材作成
事業は一部「WAVE港・海辺振興助成」を
受け実施しています。

春だ干潟だ伝言版

6月10日(土) 干潟を守る日2006
協賛イベント

干潟観察会 13:00~15:30

集合: 13:00 大新田海岸(セブンイレブンさん奥)
持ち物: 長靴・汚れても良い服装・着替え・タオル
水筒・帽子・バケツ・スコップなど
参加費: 大人200円・高校生以下100円

ビーチクリーン 11:00~12:00

集合: 11:00 大新田海岸(セブンイレブンさん奥)
持ち物: 作業のできる服装と靴 参加費無料

どちらも小雨決行・大雨中止です

次号でご案内 夏休み干潟観察会7月23日(日)

夜のアカテガニ産卵観察会8月22日(火)

県立歴史博物館夏休み特別展「みんなの海」

いのちあふれる豊前海干潟 - 7月14日~9月24日

アヤシイ干潟調査隊2006★カブトガニ部隊★隊員募集中

山国川学習館での夏休みイベントもいろいろ計画中だよ

★毎月11日はジャスコでお買い物★イオン三光SCイエローレシートキャンペーン★
毎月11日にお買い物をした黄色いレシートを食品レジ前の「水辺に遊ぶ会」BOXに入れ
ていただくと、金額の合計の1%が水辺に遊ぶ会の活動資金として寄付されます。

ホームページ営業中！遊びに来てね!!

<http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/>

水辺に遊ぶ会MUSEUM

水辺に遊ぶ会ミュージアムは「建物のない博物館です」

<http://www.geocities.jp/kabunkun/index.html>

メールはこちらへ→mizube1999@yahoo.co.jp

へんしゅう
こうき

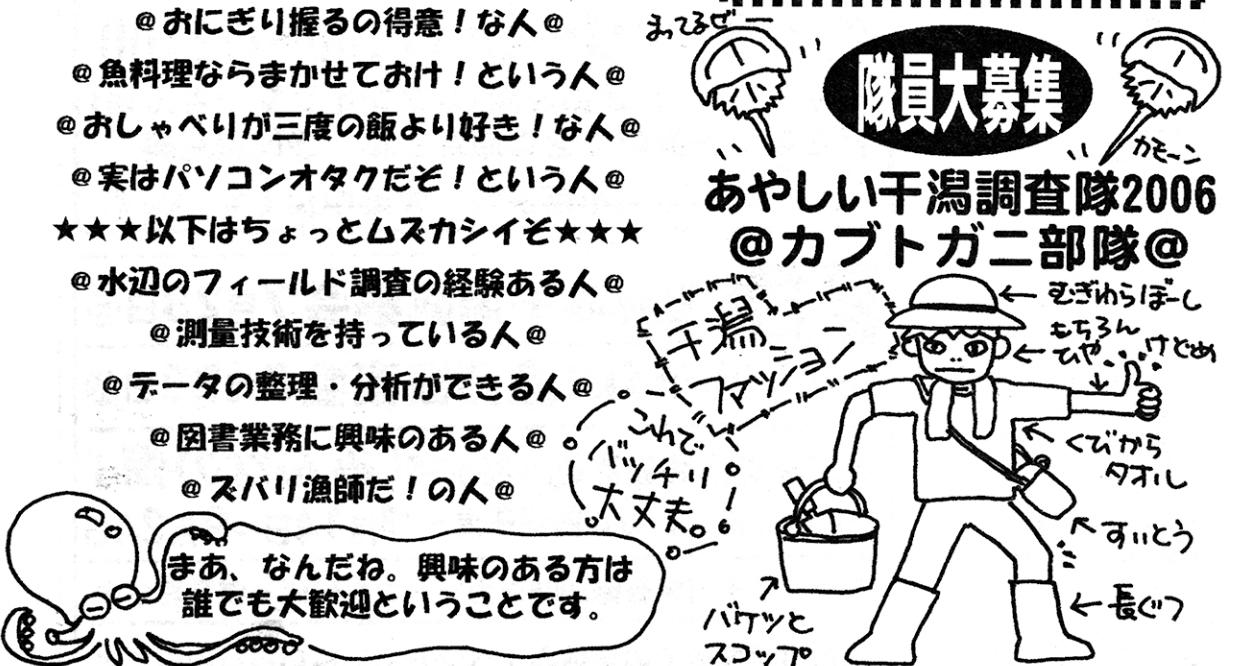
■母の日に26才の娘の手づくりマドレーヌが。何これ？ そうじゃないッス！これが幸せの原点だよ！ (しかし相変わらず料理下手...) (あ)
■気がつけばガタガタ通信えらく間があいてしまいました。ゴメンナサイ。お詫びがてら、今号は張り切っていつもの2倍の増刊号にしてみました。いかがでしたでしょうか？ 今年もがんばります！ (う)

そして今年もたこづぼ。
漁に突入するのだつた。

これからも、水辺に遊ぶ会らしい活動を続けます。 ×××で今年もボランティアさん募集中!!

われこそは！という方ご一報くださいね。

- ① ヘンテコ生きものダイスキ！な人①
- ② 子どもと遊ぶのが生きがい！な人②
- ③ やっぱり大自然が好きだぞー！という人③
- ④ 肉体労働なら任せてくれ！という人④
- ⑤ 私って気がきくわー！と思う人⑤
- ⑥ おにぎり握るの得意！な人⑥
- ⑦ 魚料理ならまかせておけ！という人⑦
- ⑧ おしゃべりが三度の飯より好き！な人⑧
- ⑨ 実はパソコンオタクだぞ！という人⑨
- ★★★以下はちょっとムスカシイぞ★★★
- ⑩ 水辺のフィールド調査の経験ある人⑩
- ⑪ 測量技術を持っている人⑪
- ⑫ データの整理・分析ができる人⑫
- ⑬ 図書業務に興味のある人⑬
- ⑭ スバリ漁師だ！の人⑭



環境省「みどりの日」環境功労者表彰 環境大臣賞をいただきました。

●慣れないモノをいただくと本当に落ち着かないもの。表彰式の服装は？と悩んだり、いただいた賞状を入れる額がないとオロオロするのは、いかにも貧乏所帯の水辺に遊ぶ会らしいところなのですが。どうして私たちの会が？？？と今ひとつピンと来ない。自分たちが楽しくてやっている活動なので、こうい ●でも、ひとつだけ間違いないのは、会を支えてくださる皆さまとの信頼と協力の上での活動の蓄積によってもたらされたもので、そんな活動を行うことのできる豊かで広い中津干潟があるからこそだと思います。

●思いがけないご褒美をいただいた晴れの席は、私たちの活動をふり返り、たくさんの方々に改めて感謝の思いを感じる機会になりました。賞をいただいても、中津干潟が一夜でビックリ！蘇るわけでも、水辺に遊ぶ会が豪華に？変身するわけではありませんから、今後も皆さんと楽しく末永く権威とはほど遠い位置にいるというのが実感です。水辺に遊ぶ会らしい活動を続けることが大切だと考えています。どうぞよろしくお願ひします！

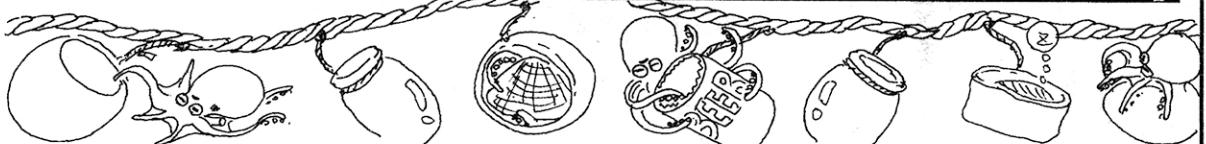
●受賞に際し、たくさんの方々からメッセージやお祝いをいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。ありがとうございました。

「質問です。来年もたこづぼ漁やんですか？」あらう事か漁師のKさんから、こんな発言が飛び出したのは忘れもしない去年の5月5日。「私たちとしてはですねーまたやってみたいと思いますが、漁師のみなさんは協力してくださるんでしょうか？」と恐る恐るマイクを向けると「そりやあ、みんなが喜んでくれるなら、来年も協力しますよ」とNジジが力強い返事をしてくれた。あれから一年。正月明け頃から、たこづぼオバハン二人はゴソゴソと準備を始めた。始めたと言つても最初にするのは焼酎を媒介とするノミニケーション。これなくしては、たこづぼ漁はできんのじゃ。と言いつつ、満開の桜がきれいな4月8日、食い気と二人連れ？（失礼！）の参加者たちが続々と歴史民俗資料館に集結したのだ。



朝の風を切つて、波の上を跳ねるようて船が進む。日くかすみがかった中津の浜と町と八面山は、絵のようにきれいで、なんだかシアワセな気分になつた。

水辺に遊ぶ会 無責任思いつき企画も2年目 こうなりやコワイモンなし！
「作っちゃおう・食べちゃおう2006～古代人になって中津干潟でたこづぼ漁に挑戦だ～」



「去年と同じたこづぼじや何の進歩もないけんなー」私たちを応援してくれる漁師さんは、時々サラッとスゴイ課題を与えてくださる。そうだけが登場。きつちりと美しいフォルムのたこづぼから、長屋式、出入り口多数派、お友達付、シェル（ヤドカリ？）型、そして、これって大ダコ狙いですか？たこづぼ…。マイリマシタ。それから廃物利用のリサイクルたこづぼも制作。こつちは突っ込みどころ満載の楽しいつばかり。穴にヒモを通して、親ヒモに結んで準備万端。それにしても、形も大きさもめちゃくちゃ。その上、所々に彩りを添えるリサイクルたこづぼ…。海の中に沈んだこの万国旗のようなつぼの集団を見て、オサカナたちは何を思うだろう。うふふ。タコさんに入ってくれるかナ。スタッフがお気楽に夢見る頃、漁師さんたちは「タコ入らんかったら、どげするか？」と、今年も眠れぬ夜を過ごしていたのである。

待ちに待つたたこづぼ漁は5月3日。水辺に遊ぶ会快晴神話が復活した晴天の下、5艘の船が出航した。波が高くてちょっと怖い。自然界はいつもものどかな日和ばかりじゃないんだ。たちはかつこいいぞ。目印の旗を引つ張ると、万国旗！いやたこづぼがあがってきた。タコは入っているかな？緊張の一瞬の後、歓声が上がる。タコちゃん無事入つていました！陸に上がり、陸上部隊のみなさんが作ってくれたお刺身と恒例バクダンおにぎりをほおばる。ユデダコにもかぶりつく。美味しくてシアワセ。こんな美味しい海の幸が食べられるのは中津の海が豊かだから。海にも協力してくれた漁師さんにも、一緒に頑張ってくれた参加者のみなさんにも感謝感謝。来年もやるからね！



でもすごーく旨かつた。